

# Twitter を活用した 教育と学習





国際連合  
教育科学文化機関

協力：  
UNESCO情報・コミュニケーション局

## クレジット

本文書は、UNESCOの協力のもと、Twitterが作成しました。この協働におけるUNESCOの目的は、メディア情報リテラシー学習の推進です。

## 謝辞

UNESCOプログラムスペシャリスト、アルトン・グリズル氏に深く感謝します

# 目次

- 02** はじめに
- 04** Twitterをはじめ
- 06** グローバルシチズンシップ教育とメディア情報リテラシー
- 08** デジタルシチズンシップとメディア情報リテラシー
  - 08** デジタルエチケット
  - 09** ネットいじめへの対応
- 10** メディア情報リテラシーフットプリントによるデジタルフットプリントの改善
- 11** デジタルフットプリントの管理
- 13** Twitter上に表示される情報の管理
- 15** デジタル世界のメディア情報リテラシースキル
- 18** メディア情報リテラシーに関するUNESCOの5つの規則
- 21** 教育者と開発アクター向けの学習活動
- 22** Twitter: デジタルスタッフルーム
  - 23** 活用事例
  - 26** 経験者の声
  - 28** ハッシュタグ
- 29** 付録1: Twitterの基本
- 33** 付録2: Twitterルール
- 34** 付録3: メディア情報リテラシーに関するUNESCOのリソース

アクティビティを作成したら、**#MILT**Twitterを使ってツイートし、世界中に自分のお気に入り共有しましょう。

# はじめに 学習体験を向上させる ためのイノベーション

「イノベーションと情報通信技術を、教育システムの強化、知識の普及、情報へのアクセス、質が高く効果的な学習の推進、より効率的なサービスの提供のために活用する必要があります<sup>1</sup>」

UNESCO、2015年

青少年や児童生徒は年齢を問わず、複雑さの増す情報通信環境の中で育っています。読む、聞く、見る情報がこれまで以上に溢れる現代。情報を入手する場も、オンライン、オフラインともに増えています。こういった情報は、ますます増え続けるさまざまな種類の書き手と機関から発信され、それぞれに独自の視点と考えがあります。

情報通信分野やデジタル／アナログ両環境の急激な変化によって、これまで以上に良質な情報や技術、メディア選別力を持つことが、あらゆる人にとって必要になっています。UNESCOではこれをメディア情報リテラシーと呼んでいます。グローバルシチズンシップ教育、デジタルシチズンシップ教育という言葉は、異文化、宗教、金融、科学といった、より広範囲な社会的能力全般を指して使われます。教師は第一線に立ってこの運動を進めていく立場にあり、次世代の若者に対し、従来通りの教育を行うと同時に、時代に合わせた新しい知識を授けていくよう努めなくてはなりません。

本文書は、メディア情報リテラシーと、それがどのようにグローバルシチズンシップ教育、デジタルシチズンシップ教育につながっているかについて授業を行おうとする教育者向けに作成されました。授業の焦点がメディア情報リテラシー（MIL）であっても、オンラインでの良識のある行動やその他の社会的能力のいずれであっても、役に立つ情報が含まれています。ここでは、教

育者、教室という言葉を可能な限り広義の意味で使っています。そのため本文書の大部分は、教師にとっても保護者にとっても役に立つ内容となっています。

本文書を通じて、TwitterとUNESCOは、それぞれが持つ情報、技術、メディア、MILに関する専門性を活かし、教授法や効果的教育についての実践的なアドバイスを提供することを目指しています。

UNESCOは国連機関で、すべての人への教育とメディア情報リテラシーの推進を主導する役割を果たしています。社会的相互作用が効果的な生涯学習の基礎であることは、全関係者が認めるところです。

Twitterのようなソーシャルプラットフォームは、比較的新しいアクターとして見られていますが、ソーシャルラーニングはそうではありません。ソーシャルラーニング理論の起源は、数十年前にさかのぼり、インターネットが生まれるずっと前のことでした。新技術、新たな情報の流れ、メディアの急増は、時として否定的な見方をされることがあります。MILを学ぶことによって、人々は機会を活用しつつ、リスクから自分の身を守れます。MILはより効果的なソーシャルラーニングや生涯学習を求める人々の手助けとなります。ソーシャルラーニングがソーシャルメディアを通して更新され、実施されるという考え方は分かりやすいように思われます。

バラス・フレデリック・スキナー氏、クラーク・ルイス・ハル氏、ニール・ミラー氏、ジョン・ドラード氏といった著名な教育改革者たちが今も存命であったら、ソーシャルメディアを通じて研究の成果を拡散したかもしれません。アルバート・バンデューラ氏はきっと、教育者とソーシャルアクターには、ソーシャルメディアを通じて人々の学習や取り組みを高められる類まれなる機会があると認めるでしょう。<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 『Education 2030, Framework for Action』 <http://unesdoc.unesco.org/images/0024/002456/245656E.pdf>

<sup>2</sup> Grizzle, A. (2018). Deaton, S. (2015) も参照。『Social Learning Theory in the Age of Social Media: Implications for Educational Practitioners』 i-manager's Journal of Educational Technology, 12(1), 1-6. <https://doi.org/10.26634/jet.12.1.3430>

教育者は次のようなさまざまな目的で、Twitterを使っています。

- **デジタル教室:**Twitterは、デジタル技能とグローバルシチズンシップ教育など、メディア情報リテラシーを教える際に使用できます。生徒が情報に通じ、クリエイティブになり、積極的に関与し、力を備え、自分を表現することで社会のポジティブな変化に貢献できるようにし、その一方でTwitterやオンライン上のどこでも安全で良識のある行動を取れるよう教育できます。
- **同僚とのネットワーク作り:**Twitterは優れた情報収集ツールです。他の教育者のアイデアを入手したり、教育やedtechに関するカンファレンスにつながって、たとえ自分で出席できない場合でも最新情報を得たりできます。専門知識や能力の向上と、持続的な学習を助けるツールとしても最適です。
- **学校コミュニティとのつながり:**教師や管理者はTwitterを使って、宿題からプロジェクト、新学期の保護者懇談会まで、クラスや学校のさまざまなニュースを共有できます。

本文書は、教育者やさまざまなソーシャルアクターが、Twitterを使ってどう革新的に学習成果向上に取り組むかについての手がかりとなるでしょう。

新しい世代が情報に通じ、力を備え、積極的に関与する市民となるための一助となることを目指しています。

## TwitterとUNESCOのパートナーシップ

TwitterとUNESCOは、2018年半ばから協力して、メディア情報リテラシーに関連する会話を推進してきました。グローバルメディア情報リテラシーウィーク2018では、ハッシュタグ#ThinkBeforeSharing（#シェアする前に考えよう）と#ThinkBeforeClicking（#クリックする前に考えよう）の絵文字をリリースしました。また、UNESCOが重視するMIL都市を広めるための絵文字も発表しました。共同プロモーションによって、MILウィーク会議の認知度と参加が大幅に向上しました。また、TwitterはUNESCOのパートナーをAds for Goodプログラムで支援しています。

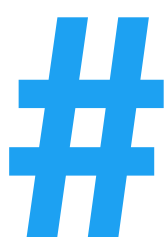
本文書はパートナーシップの次のステップ、すなわち今後数年にわたって構築を目指す関係を示すものです。

@PolicyをフォローしてTwitterのPublic Policyチームから最新情報を受け取りましょう。@MILCLICKSをフォローしてUNESCOのメディア情報リテラシープログラムの最新コンテンツを受け取ることもできます。

# Twitterを はじめる

Twitterは、街から街、そして世界中で、アイデアや情報を共有し、コミュニティを作り、新しい人々や視点を見つけるための場所です。重要なのは、TwitterはあなたのTwitterであり、特定のトピックに関して言いたいこと、聞きたいこと、共有したいこと、おすすめの学習の種類を、自分の好みに応じて選べるということです。

Twitterで誰をフォローするかは、あなた次第です。アイデアや意見、動画などに興味を持ったらフォローしてください。誰かをフォローしたからといって、必ずしもあなたがその人の意見に同意していたり、同じ意見を持っているということにはなりません。教授法、技術、教育方針、音楽、スポーツなど興味のある分野について、自分と違う視点を知るためにTwitterを使う教育者もいます。重要な問題について、世界の別の場所ではどのように伝えられていて、どのような議論がされているかを知るためにTwitterを使う人もいます。



## ハッシュタグ

#ハッシュタグを使用すると、Twitterで他の教育者たちとつながったり、アイデアを共有したりするのに役立ちます。オンラインで進行する会話はハッシュタグによって分かりやすく整理され、自身の生涯学習に最も役立つ議論を選択できます。このガイドにはさまざまな例が掲載されています。実際に見て、フォローして参加する議論を決めてください。

## フォローとフォローの解除

フォローを解除することもできます(フォローを解除すると、その人のツイートはタイムラインに表示されなくなります)。フォローを解除する理由は、期待したほど教育問題についてツイートしていない、考えに賛同できない、関係のないことばかりツイートしているなどさまざまです。あなたのTwitterフィードです。ご自由にお使いください。

フォロー

フォロー解除

## Twitter上のアイデンティティ

さらに、Twitter上での自分の表示方法をコントロールできます。ツイートするには、実名も匿名も使用できます。個人情報を守るために匿名を使用する人もいます。匿名を使うことで、より自由に意見できるようになり、学校や仕事から離れて私的なツイートができます。さまざまな意見をツイートできるように複数のアカウントを作る人もいます。たとえば、ひとつは生徒や家族とアイデアを共有するため、ひとつは他の教育者とのアイデアを比較するため、ひとつは趣味のため、と使い分けています。

## 生徒とのつながり

教育者のなかには、自分の生徒との結びつきを築くためにTwitterを使う人もいます。Twitterは、インターネット社会との関わり方や、表現の自由、そして互いを尊重することについて教えるために使うこともできます。

#stuvoice やその他のハッシュタグが付けられたTwitterのチャットや会話は、生徒をフォローして生徒の声を聞くことのできる最適な場所を提供しています。こうした場合は、デジタルリテラシーやインターネット社会との関わり方を教えるうえで非常に有益です。生徒たちが他の人の発言を目にして、自分たちもまた声を上げる勇気を持てるためです。誰もが発言する権利を持ち、さまざまな価値観や視点を持って会話に参加していることを理解することが、デジタルリテラシーの第一歩となります。



# グローバルシチズンシップ教育とメディア情報リテラシー

UNESCOと世界中の数多くの関係機関が、グローバルシチズンシップ教育という概念を提唱しています。UNESCOの枠組みでは、グローバルシチズンシップ教育には複数の異なる側面があります。本文書の冒頭では、ソーシャルラーニングの重要性に焦点を当ててお話ししました。グローバルシチズンシップ教育には、ソーシャルラーニングと良きデジタルシチズンであることに関連する、重要な2つの要素があります。メディア情報リテラシー(MIL)は直接的にグローバルシチズンシップ教育に関連しており、またMILによって人々は良きデジタルシチズンになれます

表1は、このような関連性と、ソーシャルメディア、特にTwitterがグローバルシチズンシップ教育のクリエイティブな学習にどう使えるかをまとめたものです。

表1: メディア情報リテラシーとグローバルシチズンシップ教育

グローバルシチズンシップ教育の目的	メディア情報リテラシーの目的	グローバルシチズンシップ教育とMILとの関係性	Twitterを活用したクリエイティブなMIL学習とグローバルシチズンシップ教育
学習者による実際の問題への批判的な分析、クリエイティブで革新的な解決策の発見を促すこと。	MILとは、メディア、本、情報技術プラットフォームにおいて話題になり、時として誇張されている実際の問題を批判的に分析し、積極的に関与する能力を習得することです。	MILはクリティカルシンキングを促進する方法の1つで、異文化をつなぐ能力など他の社会的能力と組み合わせるとより効力が向上します。	Twitterはオンライン上での議論や問題を発見し、評価し、分析できるリソースです。Twitterはオンライン上の公共の場所であり、オフライン上に存在する考えが反映される場所です。  学習者は、特別関心があり、学習目的に沿ったテーマやトピックを特定できます。その後、そのトピックの論点として、背景、当事者、問題、議論の全体像を批判的に分析し、議論できます。たとえば、どれが最も支配的な意見か、すべてのアクターがこの議論に平等にアクセスできるか、代表的意見であるか、政策決定にどのような影響を及ぼすか、などです。  実際の議論を検討できるクリティカルシンキングアクティビティを計画するには、さまざまな方法があります。  学習者に調査スキルを磨く方法、Twitterの複数のソースで情報を検証する方法を教えるアクティビティも作成できます。これらのソースは、ニュースサイトやレポートなど、他の信頼できる情報ソースと相互参照できます  (詳しい例については、『教育者と開発アクター向けの学習活動』セクションを参照してください)。



グローバルシチズンシップ教育の目的	メディア情報リテラシーの目的	グローバルシチズンシップ教育とMILとの関係性	Twitterを活用したクリエイティブなMIL学習とグローバルシチズンシップ教育
<p>学習者が、主流となっている主張における仮定、世界の見方、勢力関係を再考し、軽視または取り残されている人々や集団に目を向けるのをサポートすること。</p>	<p>MILの重要な部分は、メディア情報技術プラットフォームがどのように力行使し、意見や自己表現の多様性を確保し、現実、情報、政治、社会的集団、民族、ジェンダー、人種などを表現しているか、あるいは他者の権利を侵害しているかについて、人々が批判的に評価できるようにすることです(グリズル氏、2014年)<sup>3</sup>。これは、フロー・メイグ氏(2013年)が「自己管理と関与」(同上、p.183)と呼んだものと関連しています。</p>	<p>MILはグローバルシチズンシップ教育の手段でもあり、目的でもあります。</p>	<p>上述の例を参照してください。  (詳しい例については、『教育者と開発アクター向けの学習活動』セクションを参照してください)。</p>
<p>求める変化を引き起こす個人的・集団的行動への積極的な関与を重視すること。</p>	<p>MILによって、社会構造や社会環境に目を向けられるようになります。個人として、集団として、自発的に自分たちの情報、コミュニケーション、メディア環境で活動し、ポジティブな効果、変化、議論、求める目標へとつながるアクションを取れるようにします。[4]</p>	<p>MILは1つの市民エンゲージメントの形です。</p>	<p>上述のとおり、国連の持続可能な開発目標に関連するアクティビティを作り、どうやって一個人、一集団が社会的な論調、民間セクターや公共政策において変化を引き起こしたかを学べます。こういった種類のアクティビティを行う際には、成功している運動やアクションと、成功していないものとのバランスを取り、なぜそのようになったかを調べるようにします。</p>
<p>学習環境の外にいる人々など、コミュニティや幅広い社会において複数の関係者を巻き込むこと。</p>	<p>MILが教室での学習と、教室外での学習との橋渡しとなることによって、両方の効果を互いに高められます[5] (グリズル氏、2016年)。</p>	<p>MILが教室での学習と、教室外での学習との橋渡しとなることによって、両方の効果を互いに高められます。<sup>4</sup></p>	<p>Twitterは、教室の外と教室の中での学習に使えるツールです。教師は、人々や市民の教室外での学習体験を利用して、それらを正規の学習環境に取り込むアクティビティを作成できます。その状況で何が学びの要素となるか、どのような情報が学習につながったかを探ります。たとえば、オンラインで学んだこととオフラインの現実に相反するものがあるかを調べ、どの関係者が情報に影響を及ぼしたか、その目的は何か、そのインプットの結果、学習の役に立ったかどうかを探ります。</p>

出典:アルトン・グリズル氏(2018年)<sup>5</sup>

3 Grizzle, A. (2018). Assessing Citizens' Responses to Media and Information Literacy Competencies through an online course: An Empirical Study and Critical Comparative Analysis of Experts' Views. Doctoral Dissertation. ISBN: 9788449084775: <http://hdl.handle.net/10803/666860>. Tesis Doctorals en Xarxa (TDX). Autonomous University of Barcelona, Spain.

4 Grizzle, A. (2016). Media and Information Literacy in Middle East and North Africa: A Preliminary Comparative Analysis. Abu-Fadil, M., Torrent, J. Grizzle, A. (2016 Eds)より。Opportunities for Media and Information Literacy in Middle East and North Africa. International Clearinghouse on Children, Youth and Media, NORDICOM, University of Gothenburg, Sweden.

5 Grizzle, A. (2018). Assessing Citizens' Responses to Media and Information Literacy Competencies through an online course: An Empirical Study and Critical Comparative Analysis of Experts' Views. Doctoral Dissertation. ISBN: 9788449084775: <http://hdl.handle.net/10803/666860>. Tesis Doctorals en Xarxa (TDX). Autonomous University of Barcelona, Spain.

# デジタルシチズンシップとメディア情報リテラシー

## メディア情報リテラシーとは

UNESCOとその他の機関は、メディア情報リテラシーとデジタルリテラシーを一体のものとして捉えています。UNESCOは、相互関連情報、メディア、情報技術能力を含めて、メディア情報リテラシー（MIL）という言葉を使っています。UNESCOでは、MILは特に知識、スキル、姿勢といった特定の能力のことを言います。MILの定義に他の能力を含めているアクターもいます。

「メディア情報リテラシー（MIL）には、情報やメディアコンテンツの検索、批判的な評価、適切な使用と提供の一連の能力、オンライン上での権利についての知識、オンライン上でのヘイトスピーチやネットいじめへの対抗方法に関する理解、情報へのアクセスと使用における倫理上の問題に対する理解、メディアと情報通信技術を利用した平等、異文化間、異教間での対話、平和などの後押しが含まれます」（グリズル氏、2018年）

## デジタルシチズンシップとは

デジタルシチズンシップは、オンラインの世界でどのようにふるまい、どのように関わるかを表す言葉です。端的に言う、市民と政治参加の重要な問題に関する、オンラインでの他者とのやり取りの背後にある行動です。そこでのふるまいや反応は、インターネット上で自分がどのように見られ、他者をどのように見ているかを示しています。オフラインに権利と行為主体があるように、オンラインにもあります。しかし、私たちがオンラインの世界とどう関わるかは、オンラインでの振る舞いやツイートの内容に限ったことではありません。パスワード保護からプライバシーまで、オンラインで自分をどう守るかも含まれます。

情報に通じ、積極的に関与し、力を備えたデジタルシチズンになるには、MIL能力を習得し、その能力に磨きをかける必要があります。MILは、つながった世界においてグローバルシチズンであることに対する理解を深めます。

## デジタルエチケット（エチケット）

人は、対話やコミュニケーションの仕方によって印象が決まります。これは、実世界でも、オンラインでも変わりません。デジタルエチケットとは、オンラインでの行動とその規範を指します。Twitterを含む多くのウェブサイトやサービスには、行動指針となるルールがあります。

このトピックに関する生徒とのディスカッションでは、適切な行動と不適切な行動がデジタルフットプリントに与える影響について説明するのが効果的です。デジタルフットプリントとは、オンラインアクティビティの結果としてインターネット上に残される情報を指します。これは、オンラインの行動とエンゲージメントを含むユーザーの記録です。

以下は、デジタルエチケットに関するいくつかのヒントです。これらのヒントは、生徒に直接話しかけるようなトーンで書かれています。



以下は、デジタルエチケットに関するいくつかのヒントです。これらのヒントは、生徒に直接話しかけるようなトーンで書かれています。

#### トーン

- トーンは必ず文章に反映されるとは限りません。たとえば、皮肉なコメントを意図した場合でも、オンラインではそのとおりに伝わるとは限りません。
- 誰しも大声で叱られたくはありません。すべてを大文字にすると、叫んでいるような印象を読者に与えます。このため、読者はあなたの主張ではなく、その主張を伝えるために選んだ方法に注目する傾向があります。

#### 他の人を思いやり敬意を払う

- オンラインでは、自分とは異なる意見を目にします。このような場面でも、共感や尊敬の念を忘れないようにしましょう。他の人の意見に異を唱えることは、十分な情報に基づいた議論に発展することも多く、悪いことではありません。ただし、議論は礼儀正しい方法で行う必要があります。白熱した私的な口論とならないようにします。

#### 常に好意的でいる

- 好意的なデジタルフットプリントを残すようにしましょう。身近な話題でブログを書いたり、自分の才能を示したり、動画で他の人にスキルを教えたりします。チャリティ活動のために寄付を募ったり、イベントの運営に参加したりします。デジタルフットプリントによる影響を与える方法は無限にあります。

## ネットいじめへの対応

嫌がらせや迷惑行為となるオンライン上の行動は、ネットいじめと呼ばれます。このような行動に対処するためのガイドラインをいくつかご紹介します。

### 生徒がネットいじめを受けているかどうかの見分け方

現実世界と同様に、いじめはオンラインの世界でも起こります。いじめの現場を発見するには時に困難を伴いますが、分かりやすいサインがいくつかあります。生徒のお気に入りだったゲーム、プラットフォーム、端末を突然避けるようになった、プラットフォームについて議論をする際に不安そうにしたりぼんやりしたりする、オンラインの活動について話したがらない、などが挙げられます。このような活動をクラス内で話し合うと、生徒は明らかに動揺したり怒ったりすることがあります。

### 生徒がネットいじめにあっている場合の対策

生徒がネットいじめにあっていると思われる場合に最も重要なことは、生徒の安全を確保することです。その生徒が自分に起きていることを話せる人がいると理解することが必要です。その誰かは教師であるあなた、別の教師、その他の信頼できる大人、または保護者でもよいのです。この状況下での優先事項は、その生徒を安心させることです。また、誤解を招く行動があるということを理解することも大切です。このため、状況を十分に調査し、発見したことをすべて記録する必要があります。問題がある可能性を保護者に報告することが最善策である場合もあります。

### 生徒がネットいじめをしている場合の対策

あらゆる教育場面において、生徒の安全を確保することが最も重要です。生徒がこのような行動を起こす背景には理由があることを、常に認識しておく必要があります。現実世界のいじめと同様に、問題を十分に調査することが大切です。生徒が別の生徒に対して不健全な行為を働いていることが確認できたら、学校がいじめに対する方針に従って適切な対策を検討します。対策は、オンラインの行為が現実世界に被害を及ぼしていることを説明したり、教師または校長が規則に従って叱責したり、さまざまです。保護者を問題に巻き込み、必要に応じて問題をエスカレートすることも大切です。

# MILフットプリントによるデジタルフットプリントの改善

前述のとおり、デジタルフットプリントはオンラインでのやり取りやシェアしたコンテンツに基づいて作成されます。一方、UNESCOはメディア情報リテラシー（MIL）フットプリントという概念を提唱しています。**メディア情報リテラシーフットプリント（MILフットプリント）の重要性について理解するには、デジタルフットプリントの意味をより詳しく考察するのが有効です。**デジタルフットプリントは、ユーザーがデジタルデバイス上に残すデータと考えることができます。

このデータは能動的に作成される場合と受動的に作成される場合があり、インターネットサービスによってさまざまな用途に利用されます。インターネットサービスでは、このデータを活用してユーザーの興味関心に沿ったコンテンツを提供でき、たとえばユーザーに適した検索結果を返すことができます。また、このデータは商業目的で記事体広告にも使用できます。MILの学習者は、データ保護とプライバシーの権利に関する知識を得る必要があります。各種のプラットフォームを、セキュリティ意識を持ちながら運用し、「衛生チェック」を継続的に実施して、データ設定が最適であること、サードパーティアプリが必要なデータのみアクセスできること、強いパスワードが設定されていることを確認する必要があります。

そのため、学習者は、インターネットサービスによって収集される情報、収集を許可または制限する方法、自分の行動がデジタルフットプリントに与える影響を知るために、**MILの能力**を身につける必要があります。ポジティブな個人的、社会的変化をもたらすフットプリントを形成しようとしている学習者には、励ましやアドバイスを提供できます。メディア情報リテラシーを身につけた個人が、オンラインで批判的な視点を保ちながら確かな情報に基づいて適切な行動をとることで、「**MILフットプリント**」が形成されます。

MILフットプリントについては、UNESCOのMIL CLICKSプログラムで作成された[MIL CLICKERS PACT](#)をご覧ください。

# デジタルフット プリントの管理

自分の印象や過去のオンライン上でのやり取りについて、不安を持っている方も多いことでしょう。以下のように、自分のデジタルフットプリントを評価および変更できる方法がいくつかあります。

## 自分自身の検索

オンライン上で、自分はどう見られているでしょうか。自分の名前、ユーザー名、メールアドレスを検索エンジンで検索するだけで、自分が他人にどう見られているのかを簡単に確認できます。これから働く可能性がある会社、友人、家族に知られたくない情報がある場合、その情報をデジタルフットプリントから消去する手段があるかもしれません。

## プライバシー設定の確認

通常、ソーシャルメディアでは公開範囲を設定できません。たとえば、Twitterではツイート为非公開に設定できません。それにより、フォローリクエストを承認したユーザーにのみ自分の投稿が表示されるようになります。

## 古いプロフィールの無効化または削除

使用しなくなったアカウントやウェブサイトがある場合、プロフィールを忘れずに削除または無効化しましょう。プロフィールを残しておく、知らない間にハッキングされる恐れがあります。古いアカウントを使用されると、なりすましの被害にあう可能性もあります。

## 慎重な投稿

オンライン上での発言や行動に踏み切る前に、いくつかの事項を自分自身に問いかけてみましょう。投稿内容を友人や家族に見られてもかまわないか。新聞の1面であなたの投稿が引用されてもかまわないか。投稿によって誰かを意図的に傷つけようとしていないか。前述のプライバシー設定や、プラットフォームの開示性によっては、オンラインでの自分の発言や行動の影響が実生活に及ぶ可能性があります。忘れないでください。ツイートを削除しても、誰かにスクリーンショットを撮られている可能性があります。思いやりと寛容さを常に心がけましょう。



## オンラインで自分を守るには

朝に自宅を出るときは、ドアに鍵をかけると思います。家を守るため、警報装置などのセキュリティ対策を講じている人もいるでしょう。公共の場では、多くの人が身のまわりに気を配り、危険に目を光らせ、持ち物から目を離さないようにしています。デジタル世界も同様の注意が必要で、ウイルスやハッキングなどの独自の危険や落とし穴が潜んでいます。デジタル世界でも、警報装置の設置やドアの施錠に相当する多数のセキュリティ対策を導入できます。

### 強いパスワードの設定と2要素認証の有効化

強いパスワードを設定し、複数のプラットフォームで同じパスワードを使用しないことが重要です。また、2要素認証を有効にしてアカウントをより強力に保護することを強くおすすめします。これにより、デジタル世界のドアを二重に施錠することになります。

### ウイルス対策

強力な最新のウイルス対策プログラムを導入することも重要です。ウイルスは、ウイルス対策会社が構築した安全メカニズムをかいぐるべく日々複雑化しています。ウイルス対策会社とハッカーは、いたちごっこを続けている状態です。ウイルス対策は、デジタル世界での警報装置の設置と考えることができます。



### スパム、詐欺、フィッシングの警戒

最後に、リンク先には注意しましょう。リンクはすぐにクリックせず、ウェブサイトのポップアップにも気を付けてください。オンライン上で何かに当選したという信じられないような通知が送られてきたら、たいていの場合は信じてはいけません。フィッシング詐欺師は、大勢の人に詐欺のメッセージを送り付け、パスワードなどの個人情報をだまし取るとうとします。メールやウェブサイトは、なりすましかもしれません。なりすましメールは内容がもっともらしかったり、Twitterのメールアドレスから送られてきているように見えたりするため、見分けるのが困難です。メッセージの送信元に関する詳細は、メールのヘッダーで確認できます。また、アドレス帳にない送り主からのメールや、予期せず送られてきたメールには疑いの目を向ける必要があります。Twitterでは添付ファイル付きのメールを送信することはなく、メール、ダイレクトメッセージ、返信でパスワードをお伺いすることはありません。

## #NOMO<sup>6</sup> - 休憩しましょう

学習者は時折、画面から離れることも大切です。起き上がって外に出かけたり、読書や運動をしたりしましょう。インターネットは帰宅した後も使用できます。また、見るものすべてが必ずしも見たままであるとは限りません。ソーシャルメディアで見つけた他の人の生活は、その人の「最高の瞬間」を切り取ったものであるかもしれません。他の人の生活がどんなに理想的に見えても、人は誰でも悩みを抱えています。オンラインではそれを見る機会が少ないだけなのです。

<sup>6</sup> NOMO = No Mobile phone (携帯電話を持たないこと)。



# Twitterに 表示される 情報の管理

Twitterでは表現の自由が認められています。そのため、あなたやあなたの生徒はさまざまなアイデアや意見に触れることになります。それは、他人による世界の見方を学び、異なる意見に同意できなくても、それを尊重することがなぜ重要なかを生徒に伝えるすばらしい機会になります。

Twitterでは数億人のユーザーが意見を出し合っているため、同意できない意見もあるのは当然のことです。敬意を持って異を唱え、議論することで学べることもあるため、意見の相違に触れることはTwitterのメリットの1つでもあります。しかし中には、投稿をこれ以上目にしたくないと感じる相手もいます。表現の自由は認められていますが、それを見ない自由もあります。

Twitterに不快なユーザーや好ましくないユーザーがいる場合には、以下のようにあなたやあなたの生徒をサポートする機能が提供されています。

- ミュート
- ブロック
- ツイートを報告
- ルール&ポリシー
- 安全上のヒント

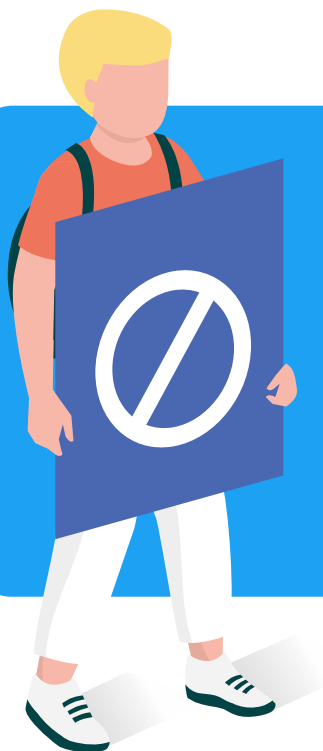
## ミュート

実生活と同様に、オンライン上で友だちや知り合いができて、しばらく楽しく過ごしていても、ちょっと不愉快になったりすることもたまにはあります。フォローは続けたいけれど、その人の声の音量を少しだけ下げたいときや、自分のタイムラインに表示されるツイート数を減らしたいときには、ミュートツールが便利です。ミュートを設定した人のツイートは非表示になるため、しばらくはその人の声が聞こえなくなります。ミュート設定したことは相手には分かりません。会話を控えることのできる最適な方法です。ミュートは後で解除することもできます。

また、Twitter上で表示するものと非表示にするものをさらに管理できる新しいミュートツールもできました。

- 通知とホームタイムラインの両方で、特定の単語、フレーズ、ユーザー名、絵文字、ハッシュタグを含むツイートを、期間を指定してミュートできます。コンテンツをミュートする期間を [24時間]、[7日]、[30日]、[再度オンにするまで] の中から選べます。コンテンツは通知、タイムラインの両方でミュートできます。
- 会話(ツイートへの返信)のミュート機能を使うと、他の利用者をブロックしたりホームタイムラインから会話を削除したりしなくても、自分が参加している会話の通知が届かなくなります。会話をミュートにしたことを他の利用者に知られることはありません。後でミュートを解除すれば、また会話に戻ることができます。





## ブロック

ブロック機能を使うと、Twitterの他のアカウントとの交流方法を管理できます。特定のアカウントからの連絡をブロックしたり、自分のツイートを見たりフォローしたりしないように制限できます。ブロックした相手のツイートは自分からも見えません。ブロックした相手はあなたをフォローしたり、ダイレクトメッセージを送ったりできなくなり、Twitter上にあなたが表示されることもありません。ブロックした相手が@ツイートしても、通知されません。

## ツイートを報告

Twitterはユーザーが安心して快適に利用できる環境を保護するために努力を重ねています。またTwitterユーザーが必要なサポートを確実に得られるよう取り組んでいます。この目標に沿って、ユーザーがTwitterを常に安全に、閲覧するコンテンツを制御しながら楽しく効果的に利用できるように、各種のツール、ユーザー制御機能、堅牢な報告の仕組みを用意しています。

Twitterルールに違反している可能性があるアカウントについては、Twitterまでお知らせください。違反の可能性については、**Twitterヘルプセンター**のサポートページから、または**ツイート内の報告の仕組み**を使って [ツイートを報告する] オプションをクリックして報告してください。あらゆる報告は、トレーニングを受けたTwitterの担当者が実際に確認しています。

Twitterでは**第三者による報告**を認めています。このため、ユーザーが他のユーザーの代わりに報告できます。この措置は現在、個人情報やなりすましの報告でも同様に認められています。

複数のツイートを報告する機能を使い、一度に最大5件のツイートを報告することもできます。

Twitterチームの確認が必要だと思われる画像や動画があった場合、その画像の下にある**[画像/動画を報告]** リンクをクリックして報告してください。





# デジタル世界の メディア情報 リテラシースキル

コネクティビティが強化されている時代では、妥当で正確な情報にアクセスし、それを理解および解釈する能力の重要性が増しています。これまで、新聞記事やラジオから流れる情報をうのみにしてはいけなかったと言われてきましたが、デジタル世界に流れる情報についてもそれは同じことです。

リテラシーという言葉は、字を読めることだけを意味しているわけではありません。読んだ情報を理解し、そこから真実を読み解くことを意味します。これはデジタルリテラシーについても同様であり、オンライン上の情報にアクセスする方法を知っているだけでなく、アクセスした情報を批判的に評価し、理解できる必要があります。



# 個人に求められる メディア情報 リテラシー

**1** 情報とメディアの必要性について認識し、明確に述べることができます。

**8** 責任を持って倫理的に情報を取り扱い、自分が理解したことや新しく培った知識を適切な形式で適切なメディアを介してオーディエンスまたは読者層と共有します。

**7** 情報とメディアコンテンツを抽出し、管理できます。

**5** 関連情報とメディアコンテンツを検索し、アクセスできます。

**2** 民主主義社会と発展途上国におけるインターネット上を含むメディアとその他の情報プロバイダーの機能が担う役割を理解しています。

**3** これらの機能が満たされる条件を理解しています。

**4** コンテンツから抽出したアイデアをまとめたり、使用したりすることができます。

**6** インターネット上のメディア情報やメディアコンテンツ、その他の情報プロバイダーについて、権限、信頼性、目的、考えられる危険性の観点から批判的に評価できます。

**10** 情報、自己表現のためのメディアとテクノロジー、権利、異なる文化や宗教を超えた対話、民主主義への参加、男女共同参画、プライバシーの保護と擁護、あらゆる種類の格差、ヘイト、不寛容、暴力的過激主義への抵抗に積極的に関与します。

**9** 情報を処理し、ユーザー作成コンテンツを作るためにICTスキルを活用できます。

出典: A・グリズル氏およびJ・シング氏(2016年)。MILID Yearbook (2016年)より: 『Media and Information Literacy for the Sustainable Development Goals (継続的な発展を目指すメディア情報リテラシー)』



**milclicks**  
MEDIA AND INFORMATION LITERACY

## 事実と作り話を見分けるための確認事項

「ラジオや新聞の情報をうのみにしてはいけない」という格言は、デジタル世界にもあてはまります。現代においては、事実確認や情報の正確性検証を容易に行うことができます。以下は、オンラインの情報に触れる学生さんたちにすすめていただきたい確認事項です。これらの事項はすべて、同意できない情報に触れた際には自然に自問しているものですが、自分の先入観を裏付けるような情報に触れた場合にはほとんど頭に浮かびません。

我々は皆、不正確な情報を見つけたらその誤りを指摘し、オンラインで誠意を持って健全な話し合いをする責任があります。

## 誰が？何を？どこで？いつ？なぜ？ どのように？

### 誰が？

発信者は誰ですか？教育者や専門家の意見ですか？既得権はあるのでしょうか？擁護者または運動家ですか？情報は独立した客観的な内容か、または主観に基づく内容ですか？そのストーリーはいくつかのソースを引用していますか？それらのソースは他のストーリーにも引用されていますか？記事を書いたのは誰ですか？名前は表示されていますか？著者またはWebサイトを検索したことはありますか？また、それによって何か疑問を感じたことはありましたか？その専門家やデータは信頼できる組織から出ていますか？

### 何を？

何を話したか。アジェンダは何か。コンテキストは何か。どのようなストーリーか。クリックベイトのようなものか。

### どこで？

どこでそう話したか。信頼できるソースか。風刺的なウェブサイトか。あからさまに主観的なウェブサイトか。このストーリーは他の場所でも取り上げられているか。ウェブサイトの「このサイトについて」セクションを読み、そのミッションを確認したか。

### いつ？

いつそう言ったか。いつ公開されたか。

### なぜ？

そう言ったのはなぜか。現在タイムラインに表示されているのはなぜか。アクションを要求しているか。

### どのように？

どのように書かれているか。句読点や大文字を過度に使用しているか。クリックベイト見出しがあるか。「メディア/機関/他人はこれをあなたに知らせたくない」というような文言はあるか

## 学習者がすべきこと、 してはいけないこと

- ✖ 年齢、住んでいる場所、学校の場所などの個人情報を教えたり、オンラインに投稿したりしないようにしましょう。
- ✖ 所有者の許可を取らずに、または適切なクレジットを付けずに自分のものではない情報をオンラインで共有しないようにしましょう。
- ✖ たとえ誰かが先に心ない発言をしてきた場合でも、オンラインで誰かを傷つける恐れがある発言をしないようにしましょう。
- ✔ 誰が別のアカウントを使用しているか分からないということを常に認識しましょう。
- ✔ 気がかりなことや怖いことがオンラインで起きた際には、必ず信頼できる大人に相談しましょう。
- ✔ オンラインで読んだことは常に疑い、必ず事実を確認するようにしましょう。
- ✔ プライバシー設定が十分であること、他のユーザーに表示、非表示にしている情報は何かを必ず確認しましょう。

# メディア情報リテラシーに関する UNESCO の5つの原則

この資料の主な目的は、クリティカルシンキングとソーシャルラーニングを促進することです。その中で、主にメディア情報リテラシーを構成する能力に焦点を当てます。UNESCOは、MILの能力を定義し、各能力に関する学習目標を設定して統合アプローチを構築する教育者をサポートするため、「メディア情報リテラシーの5つの原則」を定めました。

図2を参照



## MIL の原則



## 原則1

情報、コミュニケーション、ライブラリ、メディア、テクノロジー、インターネット、その他の情報プロバイダーは、批判的な視点を持つ市民の参画と持続可能な開発に使用されます。これらはすべてが平等に扱われ、重要性の優劣は付けられません。

## 原則2

誰もが、情報や知識を生み出す力とメッセージを持っています。新たな情報や知識に触れ、意見を表明する機会が、すべての人に与えられる必要があります。MILは、男女問わずすべての人が平等に獲得できる人権の中核的要素です。

## 原則3

情報、知識、メッセージは必ずしも価値中立的ではなく、公平であるとは限りません。MILを概念化、使用、応用する場合、この事実をすべての人に対して明確にし、分かりやすく伝える必要があります。

## 原則4

新しい情報、知識、メッセージを入手してそれらを理解し、人に伝えることは、それを認識しているか、認めているか、表明しているかに関係なく、すべての人が持つ欲求です。その権利を奪うことはできません。

## 原則5

メディア情報リテラシーは、一朝一夕で得られるものではありません。生きた経験とプロセスを経て獲得するものです。知識、スキル、態度が身につき、情報、メディア、テクノロジーコンテンツにアクセスし、それらを評価、使用、作成、伝達できるようになった段階で、メディア情報リテラシーの習得は完了します。

以下の表2は、教育者がMILの5つの原則を、Twitterを活用したクリエイティブなMIL学習と一致させる方法を示しています。

MILの5つの原則	
<b>原則1</b> 情報、コミュニケーション、ライブラリ、メディア、テクノロジー、インターネット、その他の情報プロバイダーは、批判的な視点を持つ市民の参画と持続可能な開発に使用されます。これらはすべてが平等に扱われ、重要性の優劣は付けられません。	<b>ステップ1</b> Twitterは、公共の会話と情報の共有に利用されるプラットフォームです。また、ニュースネットワークとしても利用でき、社会運動、自由な表現、調査のプラットフォームにもなります。教育者である皆さんは、関心のあるコンテンツを収集および集約するためのツールとしてTwitterを使用する方法を示すことができます。Twitterの中立性と開放性を伝えましょう。Twitterがライブラリなどのあらゆる形式の情報リポジトリだけでなく、地域やコミュニティのメディアを含む伝統的メディアも重視していることを示します。
<b>原則2</b> 誰もが、情報や知識を生み出す力と意見を持っています。新たな情報や知識に触れ、意見を表明する機会が、すべての人に与えられる必要があります。MILは、男女問わずすべての人が平等に獲得できる人権の中核的要素です。	<b>ステップ2</b> Twitterアカウントを開設してツイートすることで、知識と意見を共有する方法を学習者に示します。従来型のメディアプラットフォームでは困難であった、すべての人へのコミュニケーション手段の提供をTwitterがどのように実現しているのかを伝えます。
<b>原則3</b> 情報、知識、メッセージは必ずしも価値中立的ではなく、公平であるとは限りません。MILを概念化、使用、応用する場合、この事実をすべての人に対して明確にし、分かりやすく伝える必要があります。	<b>ステップ3</b> シェアまたはリツイートするコンテンツについて、批判的に考えるよう生徒に促します。生徒が持つ先入観を調査するか、さまざまなハッシュタグやアカウントを使用して選んだコンテンツに含まれる先入観について考察する学習セッションを用意します。有名人の私的な投稿と公的なニュースや政党の投稿を区別するため、使用するアカウントには個人アカウントと組織アカウントの両方を含める必要があります。
<b>原則4</b> 新しい情報、知識、メッセージを入手してそれらを理解し、人に伝えることは、それを認識しているか、認めているか、表明しているかに関係なく、すべての人が持つ欲求です。その権利を奪うことはできません。	<b>ステップ4</b> Twitterを用いた学習セッションをさまざまな教科で用意し、成人年齢前後の学習者に自己表現、新しい情報の検索、グローバルな情報コミュニケーションのコミュニティでの活動を奨励します。生徒に「つながらない権利」について教えます。  注:このアクティビティは、適切な指導の下で行う必要があります。
<b>原則5</b> メディア情報リテラシーは、一朝一夕で得られるものではありません。生きた経験とプロセスを経て獲得するものです。知識、スキル、態度が身につく、情報、メディア、テクノロジーコンテンツにアクセスし、それらを評価、使用、作成、伝達できるようになった段階で、メディア情報リテラシーの習得は完了します。	<b>ステップ5</b> Twitterを学習環境で使用することで、新しい情報利用スキルを示し、ハッシュタグや質の高いアカウントのフォローによって段階的かつ分野別に新しい知識を獲得し、深める方法を伝えます。学習者に対し、批判的な視点を持ってTwitterを使用することを奨励します。Twitterは開発トピック、ニュース、政治、社会活動、文化的問題に関する批判的な評価と議論の場であることを伝えます。

# 教育者と開発アクター 向けの学習活動

ハッシュタグ#MILTtwitter を使って、自分の学習アクティビティをオンラインで共有

## 実践的なデモンストレーション

オンライン上での詐欺、でっち上げ、デマの最新の例を示し、それらを見破る方法について説明します。Snopes.comとFactCheck.orgという2つのウェブサイトでは、オンラインの偽情報や詐欺の例を閲覧できます。

## 何が真実か

たくさんの相反する事実、加工した写真と本物の写真、人工的に作られた顔と本物の人間の顔、記事体広告と記事を提示します。理解度チェックをして、グループのリテラシーレベルを評価します。資料について適切な質問をしているでしょうか。このような評価テストの詳細については、MediaWiseの一部であるStanford History Education Groupの『Civil Online Reasoning』モジュールをご覧ください。これらの評価テストは、ソーシャルメディアにおける主張、動画共有サイト、Wikipedia、一般的なウェブページなどを取り扱っています。

<https://sheg.stanford.edu/civic-online-reasoning>

## デジタル探偵

生徒に「フェイクニュース」、スパム、詐欺の例を提示してもらいます。それから、例を分析し、それがデマだと思う理由を発表してもらいます。**注意:** このアクティビティは、生徒の年齢に応じた方法で、かつクラスの教師または保護者の監視下で行ってください。

## 主張を裏付ける

生徒が事実について発言した場合、なぜそれが真実だと分かるのか質問します。事実をリサーチし、自分の主張を裏付ける情報を集めるよう提案しましょう。「常識」とされていることが、必ずしも真実とは限らないと示します。

## サイバースクワッド

クラスの生徒に、お互いのデジタルフットプリントを監視し(きちんとプライバシーを尊重しつつ)、ネットいじめやその他の不適切なオンラインアクティビティがあれば報告するよう促します。



# Twitter: デジタル スタッフルーム

2006年に初めてツイートが送信されたとき、それが世界にどのような影響を与えることになるか、予想できた人はいませんでした。教育の場はもちろん、さまざまな方法でTwitterが活用されるようになるとは、誰にも分かりませんでした。



あなたは小さな田舎の村の教師だとします(もしかすると、本当にそうかもしれません)。あなたの学校には教師が3人、生徒が50人います。新しい授業計画に向けたアイデアの源は周りの同僚だけです。お互いの教育法を熟知していることもあり、同僚が共有してくれるアイデアはすでに試したことがあるものばかりです。

ところが、無料のワークショップや会議に出席し、新しいトレンドや教育法について、世界中の教師とディスカッションできるようになったと想像してください。初めてツイートが送信されたとき、Twitterはこのような現実への入り口となりました。プラットフォームとしてのTwitterは、デジタルな「町の広場」にたとえられることがよくあります。世界中のどこからでも、瞬時にアイデアを共有できる場所です。デジタルスタッフルームとして見ることもできます。教育者が、生徒に刺激を与える優れたテクニック、アイデア、提案を共有できるスタッフルームです。この小さな田舎の学校にある教師3名のスタッフルームは、サンパウロからシンガポールにおよぶ、何千人もの教育者を含むスタッフルームへと拡張されました。

教室では、Twitterはさまざまな国や文化への入り口の役割を果たします。このプラットフォームを使うと、最新のイベントをまとめて分析とディスカッションを実施したり、他の教師や生徒とのコミュニケーションを開始したり、さまざまな学術分野の専門家にアクセスできるようになります。ノーベル賞受賞者、文化的アイコン、業界の重鎮と直接関わることのできる場所は他にありません。

Twitterのマルチメディアツール(写真、動画、ライブストリーミング)があれば、世界中から集められた教育情報を簡単に共有したり使ったりできるようになります。Twitterの教育者コミュニティは長年にわたり、デジタルスタッフルームの役割を果たしています(例: #edchat)。教師と学校のリーダーがベストプラクティス、カリキュラム、記事を共有し、教育法や教育技術における最新のトレンドについてディスカッションする場でもあります(例: #edtech)。

← Tweet

Cloghans Hill NS  
@ScoilAnClochain

Last night Mrs Mangan got invited to @TwitterDublin to meet @jack the CEO of twitter and tell him how we use twitter at school& how amazing our twitter journey has been. She calls it her staff room & we've been in many classrooms around the globe!Thanks @Twitter @smcs #edchatie



昨夜、マンガンさんは@TwitterDublinに招かれてTwitterのCEOである@jackに会い、私たちが学校でTwitterを使って素晴らしい成果を挙げていることを伝えました。Twitterは彼女にとってスタッフルームです。私たちは世界中の教室を訪ねています!ありがとうございました@Twitter @smcs #edchatie



## 活用事例

# 教室の 中と外の Twitter

メディアと情報リテラシーについて教える方法はたくさんあります。また、教室でTwitterを活用する方法もさまざまです。それを示す活用事例をいくつかご覧ください。

### Gaelcholáiste Luimnigh、アイルランド、リムリック（12～18歳の生徒） @GCLuimnigh - 2,862人のフォロワー、25,700件以上のツイート、現在も増加中。

Gaelcholáiste Luimnighは、アイルランドのリムリックにある中等（K-12）アイルランド語集中訓練学校です。Apple Distinguished Schoolは、学習体験の拡充、生徒の能力と学習スタイルへの適合、学習の個別化に取り組んでいます。Gaelcholáiste Luimnighは、従来の教育モデルからテクノロジーを活用したコンテンツの拡充によって学習と教育を変革する教育モデルへと移行しました。Twitterはここで重要な役割を果たします。同校は、Twitterをすべての教科に統合し、学校での学習と教育を強化しています。

この統合により、生徒のエンゲージメントが増加するとともに、すべての教師と生徒がコンテンツを作成し、公開できるようになりました。同校は、生徒はTwitterを活用することで、現代社会で生活し、働く準備をする際の基本スキルである創造力、コラボレーション能力、コミュニケーション能力、クリティカルシンキングを養うことができると考えています。各学科と課程の責任者は、Twitterアカウントを管理しており、学校運営担当者が両親を含む広範なオーディエンスに生徒とスタッフの学習と成果をリツイートできるように、学校の主要なTwitterユーザー名をすべての投稿に含めています。このアプローチは広く受け入れられ、アイデアと創造力がTwitterを通じて伝えられると同時に、生徒の学習と成果が保護者、後援者、そして世界全体に公開されます。

学校の校長であるドンチャ・オートレサイ氏は、学校の生徒にデジタルシチズンシップのベストプラクティスを促進する際に、現実世界のスキルと経験を提供することに意欲的に取り組んでいます。

ドンチャ氏は、「**私たちは生徒たちにソーシャルメディアの最適な使い方を教える際に、疑う姿勢ととことん調べる習慣を植え付ける必要があります。そうすることで、生徒たちはインターネットやソーシャルメディアチャンネルで提供される情報に疑問を抱き、それを批判的に捉えるようになります**」と話しています。

これにより、若者の間に、朝起きた瞬間から夜寝るまでオンラインの接続された生活を生徒が管理するのに欠かせない回復力が育まれます。ドンチャ氏は、このアプローチを採用することで、お互いを尊重しながらベストプラクティスを求める環境ができ、メディア情報リテラシーに関する会話を最新かつ妥当なものに保つシナリオと機会を学習者と教師に提供できると提唱します。

## UNESCO MIL CLICKS

MIL CLICKSは、UNESCOのソーシャルメディアイノベーションです。複数のプラットフォームを通じてメディア情報リテラシーに関するガイダンスとコンテンツを提供し、人々がコンピテンシーに関する会話に参加できるようにしています。MIL CLICKSプログラムにより、人々はインター



ネットとソーシャルプラットフォームを日常的に利用しているときにメディアと情報に批判的に向き合う方法を学習できます。仲間内の教育も促進されます。

生徒は、マイクロ学習コンテンツを使用した閲覧、遊び、つながり、共有、交流を通じて互いに学び合い、教え合います。このコンテンツには、グラフィック、イメージ、短い動画、Twitterでの質問と回答、ウェビナー、その他のソーシャルメディア関連の投稿またはエンゲージメントが含まれます。

私たちは、「メディア化」の時代、クリックと押下の時代にいます。しかし、人々はオンラインとオフラインで効果的に人々の心を捉えているのでしょうか。批判的に考え、賢くクリックすること。それがMIL CLICKSが実証することです。

MIL CLICKSは、Media and Information Literacy: Critical-thinking, Creativity, Literacy, Intercultural, Citizenship, Knowledge and Sustainability（メディア情報リテラシー：クリティカルシンキング、クリエイティビティ、異文化、シチズンシップ、知識、持続可能性）の略称です。

@MILCLICKSをフォローするか、#MILCLICKS ハッシュタグをチェックし、<https://en.unesco.org/milclicks>でこのイニシアティブの詳細をご確認ください。

## Mercy Mounthawk Secondary School、アイルランド、トラリー (12～18歳の生徒) @mounthawkmercy - 1,161人のフォロワー。

Mercy Mounthawk Schoolは、アイルランドで5番目に大きな学校で、生徒が1,250人、教職員が100人以上います。この学校の教育と学習の中心は教師と生徒両方のデジタルスキルであり、同校は学習と教育のICTの統合に多数のイノベーションを取り入れています。学校の規模が大きいため、教科にICTを活用している主要学科の担当者など、学校のICTに関連する主な関係者で構成される委員会が設置されています。Mercy Mounthawkは、主要機関や第三者レベルとの機関ともつながっています。

Mercy Secondary School Mounthawkでは、学校と教職員がさまざまな方法でTwitterを活用しています。主な用途は、学校で行われる活動に関するコミュニケーションです。これには学校全体の活動/実績や、スポーツチーム、校内でのSTEAM活動、移行年プログラムなど学校の特別な活動に関連するものが含まれます。教師は、Twitterを個人学習ネットワーク(PLN)としても活用しています。これにより、教師は、さまざまな教科に関するアイルランド国内および海外の最新の教育手法に触れることができます。

学校の副校長であるパット・フレミング氏は、校内での活動をコミュニティに伝えることが重要であると考えています。

**「Twitterを使用すれば、私たちの世界で起きていることに関心を持つ人々に最新の情報、たとえば、全国バスケットボール大会の決勝の最新スコアや保護者向けのキャリアナイトのスケジュールなどを伝えることができます」**

校内の生徒は、Twitterを活用して調べものを行ったり、さまざまなプロジェクトとの関連で関心のある人々(BT Young ScientistやScifestコンテスト参加者など)に接触したりしています。こうして生徒たちは、Twitterを通じて得たグローバルなつながりと視点を活用できます。

教師のウィル・ノーラン氏は、Twitterから授業のインスピレーションを得ていると述べています。「授業のインスピレーションが必要な場合は、Twitterをチェックします。世界中の教育者は私の最も大きなリソースです。Twitterには、あらゆるテーマについて熱心に語る人々がいます。そのため、私は私の授業に使用できるアイデアを他の教科の教師に求めることがよくあります」

## #EduTweet パートナーシップ Twitterと学校指導者のネットワーク(インド)

#EduTweet は、学校指導者向けに策定されたインドの教育者イニシアティブのTwitterで、教育者がその知識と経験を共有できる場です。Twitterと学校指導者ネットワーク(@slnindia)の協力に基づいて2018年に始まったこのプログラムで、Nahar International School (@NaharNIS)の40人以上の教育者とデリーにあるAlchon International Schoolの50人以上の教育者が集まり、ワークショップに参加しました。

このプログラムでは、Twitterを使用してコミュニティを検索および構築する最適な方法、教育ポリシーについて議論する方法、Twitter内の主要なインフルエンサーと交流する方法を説明しました。また、メディア情報リテラシーを生徒に教育する方法や、デジタルシチズンシップ、匿名性、ネットいじめの概念、信頼できるリソースの見抜き方を調査しました。

プログラムでは、教育者たちが授業でのTwitterの活用方法について議論します。

インドの教育者とリーダーは、Twitterのパワーを活用して広範なコミュニティと関わっているか、生徒と一緒にメディアリテラシーとオンラインの安全性に取り組んでいるか、ソーシャルメディアを教室に組み込んでいますか、といった質問が #EduTweet で取り上げられました。



一般に、プログラムは3つの重点領域に分けることができます。

### 教育者向けの思考 リーダーシップ

イベントに参加する教育者は、思考リーダーシップを通じて、教育、より良い組織づくり、仲間とのベストプラクティスの共有、筋の通った実のある議論、そして質の高い教育と社会正義のための活動にTwitterのパワーを最適に活用する方法を検討します。Twitterを使用すれば、仲間とのエンゲージメントを深め、彼らから新しいアイデアを学ぶことができます。

### 学校でのメディア情報 リテラシー

ワークショップの2番目の重要分野では、ネットいじめ、匿名性、偽情報のトピックや、これらの分野に対処し、教育するにはどのような方法が最適かといったことが話し合われました。クリックベイト、偽情報の拡散の仕方、「行動を起こす人」になる方法、デジタル世界における共感の重要性などの問題が、プログラムを通して主に取り上げられました。

### デジタル教室

ワークショップの最後の重要分野ではグループで議論を行い、学校の安全性を維持しながら、Twitterなどのテクノロジーを学校に組み込むにはどうすればよいか話し合われました。生徒が授業内容をツイートで復習できるクラス用のプライベートアカウントや、ソーシャルメディアのパワーを理解する手段としてのモバイルジャーナリズムなどのアイデアについて検討しました。

# 経験者の声 - 教育者による 体験の共有

私の高校の生徒と私は、**Twitter**を使用して世界中の科学者たちと対話しています。  
**#scistuchat** をチェック

高校の科学教師、米国、  
ナッシュビル

私や学校は、ブログを書いたり**Twitter**を始めたりすることに取り組んでいます。国際的なコラボレーションがいかに大事かということに気づいたからです。

教師、イギリス、ヨークシャー州

私も生徒たちも、素敵な**Twitter**のおかげで、太平洋の真ん中から世界中とつながることができます。

6年生の教師、米国、ハワイ  
州アイエア

校長である私は、**Twitter**を学習および共有プラットフォームとして使用しています。私は、どんなサービスや会議イベントよりも**PLN**から多くのことを学びました。また、これは無料で**24時間365日**利用できます。

校長、米国、テキサス州マッキンリー

私は、特定の問題の可視性を高めるためにハッシュタグを使用します。現実を変えようとするトレンドを検索するためにも使用します。たとえば、不正や違法行為、政治的腐敗、独断的な機関を非難するハッシュタグを検索します。国の変革を促進するポジティブな目標を広げるハッシュタグも検索します。私は、ハッシュタグを使用してこうした問題を支持または非難できます。ハッシュタグを使用すれば、この巨大なネットワークでこのような目標の可視性が大幅に高まります。おかげで、私はそうした高まりつつあるイニシアティブに参加できるのです。また、@記号は、状況または不満に対処して事態を改善できる人々に言及するのに役立ちます。これらはどちらも有用なツールです。

中等学校教師、メキシコ、トルカ

36年の教師経験がある私の母は、総合的読解力を鍛えることの重要性を彼女の生徒(ほとんどが地方出身者)に教えていました。母は、生徒が情報を他者に依存しないよう強調しました。そのため、生徒とその家族は、だまされて真実ではないことを信じ込むようなことはありません。同様に、私は、ある地方自治体での大学教師としての仕事の中で、**Twitter**を、国際関係コースの生徒の総合的読解プロセスを強化するためのツールとして使用しています。生徒は、さまざまなソースにアクセスすることで、ウェブ上の情報の真偽を見極める能力を高め、偽情報の拡散者にならない術を学んでいます。

中等学校教師、メキシコ中等学校

私は、**#edchat**が始まったときに**Twitter**を使い始めました。**Twitter**は私の指導教育プログラムになりました。私は、私のフランス語の生徒や州内のその他のフランス語のクラスとコラボレーションしました。生徒はフランス語でツイートしています。専門的指導者である私にとって、**Twitter**は他の人々の経験や意見を知るためのライフラインです。世界中の人々と**24時間365日**有益な会話を行うことができるのですから。

教師、米国、アラバマ州タスカルーサ

私は、**Twitter**を活用し、教育と教育テクノロジーのトレンドをいち早く取り入れています。複数の観点から理解する必要がある質問やアイデアがある場合は、**Twitter**を使用して世界中の聡明な教育者の意見を聞きます。疑問を抱えているのなら、**Twitter**の世界に飛び込み、自分で調べてみることをおすすめします。

教師、米国、テキサス州オースティン

私は、**Twitter**を基本的な学習ツールとしてオンラインコースのカリキュラムに追加したいと思っています。**Twitter**を使用すれば、誰もが会話の参加者と直接かつ即時に連絡できます。さらに、同じグループのメンバー間のコミュニケーションを強化できます。

大学教授、コロンビア、ボヤカ

シンガポールの教育者たちは、毎週火曜日の夜に**#edsg**を使用してチャットしています。

教育者、シンガポール

私は、教育に関する最新のアイデアや考え方を知りたいときには、最初に**Twitter**を調べます。若い初等学習者とそのコミュニティおよびその他の学習者を結びつけるのにも**Twitter**を使用しています。

教師、オーストラリア、メルボルン

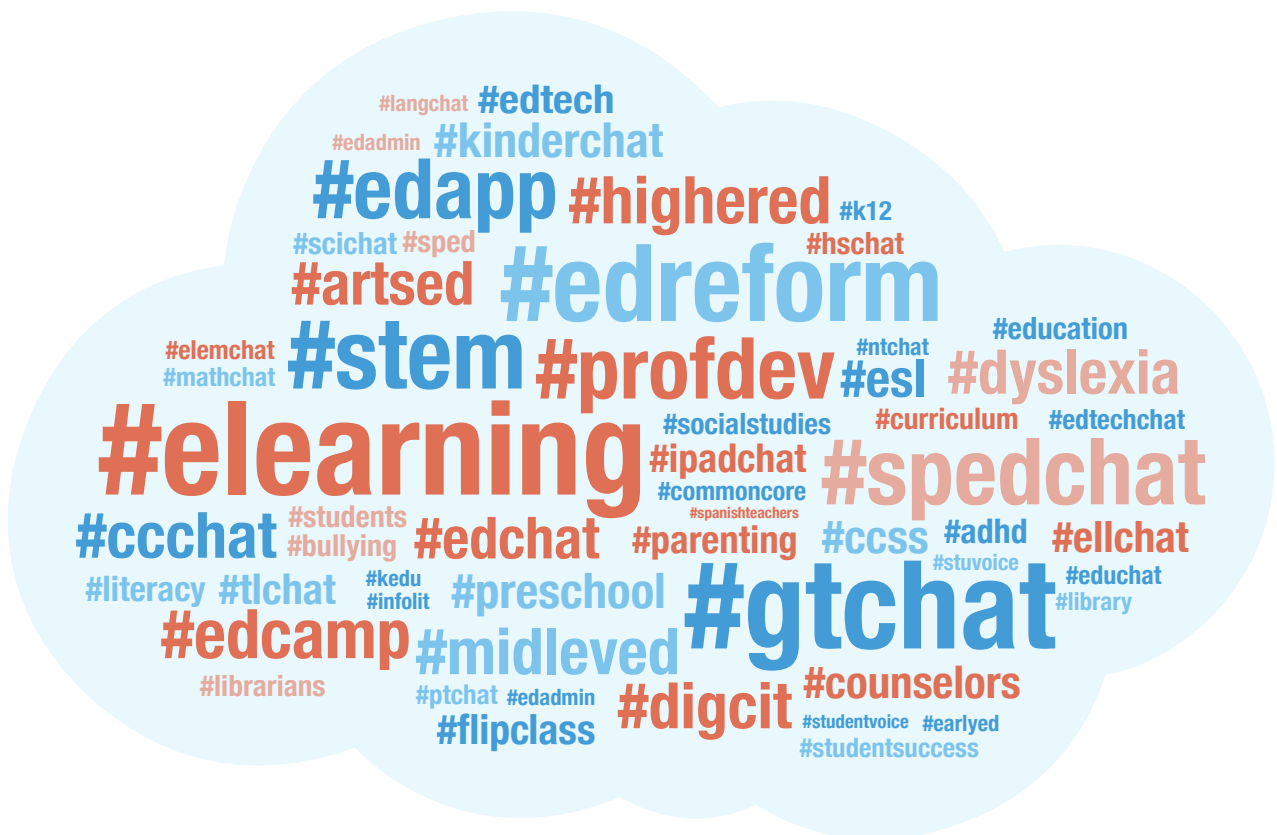
# 会話に参加する： 教育ハッシュタグ

Twitterには、さまざまな教育に関する会話のハッシュタグが存在しています。#edchat のように一般的なハッシュタグもあれば、特定の事柄に関するハッシュタグもあります。

例

- 前述のとおり、#MILTtwitter というハッシュタグを使い、メディアと情報リテラシーの革新について共有することを、Twitterは教育者に提案しています。
- #edtech - 教師や生徒がどのようにIT技術を活用して学習を向上させているかについて会話されています。
- #digcit - インターネット社会にどう関わっていけばよいかを教えるためのアイデアや、子供や大人が互いを尊重しながらオンライン世界を作り上げるための手助けをする戦略に、ハイライトを当てています。
- #stem - 科学、技術、工学、数学、そして時には芸術にまで及ぶすべてのことに関連する場所です。
- #esl - 英語学習についてさまざまな視点で話し合われています。

以下のハッシュタグを参照し、Twitterで他の教育者とつながりましょう。



# 付録1: Twitterの基本

## プロフィールを設定する

Twitterのプロフィールは、あなたがどんな人で、あなたの学校がどんな場所かを表すスペースです。プロフィールでは、どのようなツイートをするのかを示すことができます。また、他のユーザーはそれを見て、あなたをフォローするかを決めることができます。

Twitterプロフィールを設定して、あなたの価値観やツイート内容を最大限に表現するためのヒントをいくつかご紹介します。

## ユーザー名はTwitterにおけるアイデンティティ

他のユーザーがあなたのツイートに返信したり、あなたを会話に追加したりするときに表示されます。「@」から始まるのがユーザー名です。ユーザー名の最大文字数は15文字です。表示名の最大文字数は50文字です。

## Twitterユーザー名の認知度を高めるヒント

自分のTwitterの@ユーザー名を印刷物に含めましょう。資料にTwitterの@ユーザー名を追加すると、アカウントの露出を高めることができます。これはTwitterというチャンネルを使って人々があなたと直接つながることができることを示しています。他のユーザーのツイートを読み、反応する場です。

Twitterを学校のウェブサイトに取り込んでみましょう。ウェブサイトにTwitterボタンを追加すると、あなたのツイート内容を幅広い層の人々に知らせることができ、より多くのフォロワーを獲得できます。

オーディエンスがオンラインになる時間帯を考慮するのも有益です。たとえば、朝の通勤時やランチタイム、夜、テレビの視聴中は、一般的にTwitterへのアクセス頻度が増える傾向にあります。

## 自己紹介

アカウントの自己紹介の最大文字数は、160文字です。あなたの学校や、学校の使命についての記載を含めることをおすすめします。自己紹介にキーワード、アカウントユーザー名、ハッシュタグを使うと、他のユーザーが検索するときにアカウントを見つけやすくなります。あなたの学校に関連する会話やアカウントとつながりましょう。

## 写真

印象的で高画質な画像を活用して、キャンペーンメッセージを強調できます。あなたらしいプロフィール写真を選びましょう。この写真は、あなたが投稿するすべてのツイートに表示されます。また、他のユーザーがあなたやあなたの組織について抱く第一印象となる場合があります。個人のアカウントであれば、笑顔の写真が最も効果的で、エンゲージメントを高めることが証明されています。組織のアカウントであれば、組織を表すロゴを活用するといいいでしょう。プロフィール写真はTwitterの公式プラットフォームに表示されます。ツイートがニュース記事に埋め込まれた場合も、写真が表示されます。

カバー写真はあなたの広告看板です。あなたの興味関心や性格を表す高画質の風景写真や、フォロワーに知ってほしい問題やキャンペーンの画像を活用します。

## フォローするユーザーを見つける方法

知り合いをフォローすることから始めます。名前や@ユーザー名を検索するか、メールのアドレス帳から連絡先をインポートして即座に知り合い全員を見つけます。それから、お気に入りのスポーツチーム、俳優、地元の新聞、作家、学校などを検索します。最後に、あなたが見たい種類のツイートをしているユーザーのアカウントを検索します。最新ニュースやコミュニティリーダーといったアカウントです。

会話を探すのも、フォローしたいユーザーを見つけるすばらしい方法です。興味深いハッシュタグを見つけたら、会話をタップして、コミュニティに参加しましょう。つながりたいユーザー全員をフォローします。興味関心のあるものをフォローするだけでいいのです。

# ツイートする方法

## ツイートするには

右上のメニューから、[ツイート] アイコンを選択します。メッセージを280文字以内で入力し、[ツイート] を選択します。作成したツイートがプロフィールに投稿されます。

## ツイートのスレッドを作成するには

1. ツイートを作成します。
2. [別のツイートを追加] ボタンを選択します。
3. 必要に応じて繰り返します。
4. [すべてツイート] を選択します。

## ツイートに返信するには

1. ツイート内に表示された [返信] アイコンを選択します。
2. ツイート内にユーザー名が出てくる (@ツイートされた) ユーザーは、最初から [返信先] ボックスに表示されています。
3. 他のユーザー名を追加 (@ツイート) するには、該当するユーザー名を入力します。
4. メッセージを280文字以内で入力し、[ツイート] を選択します。
5. 作成したツイートがプロフィールに投稿されます。
6. 自分のフォロワーのうち、自分が @ツイートしているユーザーをフォローしていないユーザーのタイムラインにも表示される返信にするには、ツイートの先頭に句読点を打ってから、ユーザー名を入力します。

## 他のユーザーを @ツイートするには

1. 右上のメニューから、[ツイート] アイコンを選択します。
2. 280文字以内のメッセージを入力し、話題に加える (@ツイートする) 相手のユーザー名を入力します。
3. ユーザー名の入力中に、一致する可能性のあるユーザー名のリストが表示されます。
4. 該当するユーザーが見つかった場合、そのユーザー名をクリックするとツイートに組み込まれます。
5. 他のユーザー名を追加するときは、ステップ2~4を繰り返します。
6. [ツイート] を選択すると、作成したツイートがプロフィールに投稿されます。

7. 自分のフォロワーのうち、自分が @ツイートしているユーザーをフォローしていないユーザーのタイムラインにも表示される返信にするには、ツイートの先頭に句読点を打ってから、ユーザー名を入力します。

## ツイートにハッシュタグを組み込むには

#マークを選択し、入力を開始すると、リストに含まれる結果が絞り込まれていきます。

提案したハッシュタグ3つのうちの1つを含めるか、自分のハッシュタグテキスト (例: #EduTweet) を追加できます。

少なくとも1つのハッシュタグは一般的なものにして (例: #EdChat)、もう1つは自分の周囲のオーディエンスにとって特定のなものにします。

## ツイートに写真や動画を 組み込むには

その場で写真や動画を撮影する方法と、お使いの端末から写真や動画を選んで使う方法があります。

1. アプリを開いて左にスワイプすると、Twitterカメラが起動します。写真、動画、ライブ放送をTwitter上で直接撮影します。満足のいく写真や動画が撮れたら、[ツイート] 作成のインターフェイスに移動し、キャプション、位置情報、関連するハッシュタグを追加します。
2. もしくは [ツイート] ボタンを選び、ギャラリーから既存の画像や動画を選ぶか、カメラアイコンを選択して新しい素材を撮影します。
3. 写真を撮影または選択した後に、オプションとしてフィルター適用、ステッカー追加、画像のトリミングができます。動画のトリミングも可能です。
4. 作業が完了したら、[完了] を選択し、写真や動画をツイートに添付します。
5. 1つのツイートに最大4つの写真を添付できます。[タグ付けする] をタップすると、写真に写っている人をタグ付けできます。フルネームまたは @ユーザー名を入力し、[完了] をタップします。

## ツイートにGIF画像を組み込むには

ツイートにGIF画像を組み込むと、メッセージに込めた気持ちをより生き生きと伝えたり、言いにくいことをスムーズに理解してもらったり、気軽に柔らかい印象を情報に追加したりできます。

1. [ツイート] ボタンを選択し、GIF画像の追加アイコンをクリックします。



2. アプリで提供されている豊富なライブラリから、お好みのGIF画像を選べます。さまざまな瞬間を表現するのにぴったりの画像をすぐに見つけられるよう、感情別に分類されています。

## ツイートにライブ放送を組み込むには

目の前で起きていることについて、ライブ放送をしましょう。ツイートでライブ放送を開始するのは簡単です。

1. [ツイート] ボタンを選択し、カメラアイコンをクリックします。[キャプチャ] から [ライブ] に切り替えます。
2. すると、ライブ放送の説明を入力するようメッセージが表示されます。
3. [ライブ放送する] をクリックすると、ライブ放送が始まります。

もしくは、

1. Twitterアプリのホーム画面を左にスワイプしてカメラにアクセスします。
2. [キャプチャ] から [ライブ] に切り替えます。
3. ライブ放送の説明を入力します。位置情報を追加することもできます。
4. [ライブ放送する] をクリックすると、ライブ放送が始まります。

## ツイートに投票を組み込むには

twitter.comやTwitterアプリ(iOSまたはAndroid)で投票ツイートを作成できます。

### twitter.comで投票ツイートを作成するには

1. ホームタイムライン上部にあるツイート作成ボックスをクリックするか、最上部のナビゲーションバーにある [ツイート] ボタンをクリックします。
2. [投票を追加] アイコンをクリックします。
3. ツイート作成ボックスに投票を募る質問を入力します。投票の質問の最大文字数は280文字です。
4. 投票の1番目の回答を [回答1] ボックスに入力し、2番目の回答を [回答2] ボックスに入力します。回答の最大文字数は25文字です。
5. 投票に回答を追加するには [回答を追加する] をクリックします。投票の回答は4つまで設定できます。
6. 投票期間はデフォルトでは1日に設定されています。[1日] をクリックして日数、時間、分を調整すると、投票期間を変更できます。投票の最短期間は5分です。最長期間は7日です。

7. [ツイート] をクリックして投票を投稿します。

### Twitterアプリ(iOSまたはAndroid)で投票ツイートを作成するには

1. ツイートボタンをタップするか(iOS)、[いまどうしてる?] をタップします(Android)。
2. [投票を追加] アイコンをタップします。
3. ツイート作成ボックスに投票を募る質問を入力します。投票の質問の最大文字数は116文字です。
4. 投票の1番目の回答を [回答1] ボックスに入力し、2番目の回答を [回答2] ボックスに入力します。回答の最大文字数は25文字です。
5. 投票に回答を追加するには [回答を追加する] をクリックします。投票の回答は4つまで設定できます。
6. 投票期間はデフォルトでは1日に設定されています。[1日] をタップして日数、時間、分を調整すると、投票期間を変更できます。投票の最短期間は5分です。最長期間は7日です。
7. [ツイート] をクリックして投票を投稿します。



## ツイートをブックマークに追加するには


面白いものを見つけたとき、あとで読みたい記事やツイートのスレッドがあるときは、[ブックマーク] でツイートを保存すると、好きな時に読むことができます。[ブックマーク] を閲覧できるのは自分だけです。

### ツイートをブックマークに追加するには

1. ツイートの下の [共有] アイコンをタップします。
2. [ツイートをブックマークに追加] を選択します。
3. あとで検索するには、[プロフィール] アイコンのメニューから [ブックマーク] をタップします。
4. ツイートはいつでもブックマークから削除できます。

## ツイートを共有するには


ツイートをTwitterのダイレクトメッセージ経由で共有したり、Twitter外でツイートを共有したりしますか。

1. ツイートボタンの下の共有アイコンを選択します。  

2. [ダイレクトメッセージで送信] または [次の方法でツイートを共有] から選択します。
3. 送信先を選択します。


## ダイレクトメッセージを送信するには

あなたをフォローしている人と、非公開の会話を開始したりグループの会話を作成したりできます。誰からでもダイレクトメッセージを受信できるよう設定している場合、または以前にあなたからダイレクトメッセージを送信したことがある場合、あなたをフォローしていない人もあなたにダイレクトメッセージを送信できます。


### ダイレクトメッセージを個人に送信するには

1. 送信先のユーザープロフィールを表示します。
2. [オーバーフロー] アイコンを選択します。 
3. [ダイレクトメッセージを送信] を選択します。
4. メッセージを入力します。
5. テキストのほかに、写真、動画、GIF、ステッカーをダイレクトメッセージに添付できます。

もしくは、以下の方法でダイレクトメッセージを送信できます。

1. [封筒]、 または [メッセージ] タブを選択します。
2. [メッセージ] アイコン  または [新しいメッセージ] ボタンを選択します。
3. アドレスボックスにメッセージを送信したい人の名前または@ユーザー名を入力します。最大50名にグループメッセージを送信できます。
4. メッセージを入力します。
5.  または [送信] ボタンをクリックします。

## 夜間モードを有効にするには

1. 一番上のメニューで、[プロフィール] アイコンをタップします。
2. iOSでは夜間モードのアイコンをタップします。  
 Androidまたはデスクトップの場合、[夜間モード] を選択します。
3. 機能をオフにするには、もう一度夜間モードのアイコンをタップします。

# 付録2: Twitterルール

Twitterコミュニティの多様性とオープン性を維持すること、またTwitterを使うすべての人にとって安全な環境を作り上げることが、Twitterの使命です。オンラインセーフティはTwitterの基礎です。自由な表現にとって必要不可欠な要素であり、すべての人にとって重要なことです。Twitterの目的は、公共の会話に貢献することです。暴力、ハラスメント、その他同様の行動は、人々が自分自身を表現することの妨げになり、最終的にはグローバルな公共の会話という価値を損ないます。Twitterのルールは、人々が自由かつ安全に公共の会話に参加できることを保証するものです。

安全性センター(<https://about.twitter.com/ja/safety.html>)には、Twitterなどにおけるオンラインセーフティを誰もが学べるリソースを用意しています。このリソースは、Twitterのオンラインセーフティエキスパートの努力の結果です。エキスパートは、Twitterが善良なデジタルシチズンシップを推進する手助けをしてくれません。教育者は価値ある指導とインサイトを生徒に提供するという唯一無二の役割を持っています。教育者向けの特定のセクションを作成し、さまざまな状況で生徒が直面する可能性のある状況について、生徒と共有するコツをまとめました。

次に、Twitterルールの概要を示します詳細については、[twitter.com/rules](https://twitter.com/rules)をご覧ください。

**暴力:**個人または集団に向けた暴力をほのめかす脅迫は禁じられています。暴力を賛美することも禁止します。

**攻撃的な行為/嫌がらせ:**特定の人物を標的とした嫌がらせに関与したり、他の人にそうするように扇動したりすることを禁じます。これには、誰かが身体的危害を被ることを願う、または望むことも含まれます。

**ヘイト行為:**人種、民族、出身地、性的指向、性別、性同一性、信仰している宗教、年齢、障害、深刻な疾患を理由にして他者への暴力を助長したり、脅迫または嫌がらせを行ったりする投稿を禁じます。

**プラットフォームの操作およびスパム:**情報を人為的に拡散または隠蔽したり、Twitterのユーザーエクスペリエンスを操作または侵害する行為に関与したりする意図で、Twitterのサービスを利用することは禁じられています。

**個人情報:**他の利用者の個人情報(自宅の電話番号や住所など)を、明確な許可を受けずに公開または投稿することは禁止されています。

お使いのTwitterアカウントを「非公開モード」にすることもできます。このオプションを選択した場合に、新しいフォロワーがあなたのツイートを閲覧したりツイートに反応したりできるようにするには、事前にそのフォロワーを承認する必要があります。ツイートを再度公開する場合は、同じ設定メニューで行うことができます。

**なりすまし:**誤解や困惑を招いたり、他者を欺いたりするような方法で、個人、グループ、組織になりすます行為を禁じます。

**写実的な暴力描写や成人向けコンテンツを含むセンシティブな画像/動画:**ライブ放送、プロフィール画像、またはヘッダー画像として、過度にグロテスクな、暴力を共有する、または成人向けコンテンツを含む画像/動画を投稿することはできません。強姦及び性的暴行を含む画像/動画もまた許可されていません。

**違法または特定の規制対象商品・サービス:** 非合法的な目的で、または違法な活動を促進させるためにTwitterのサービスを利用することを禁じます。これには違法な商品・サービス、および特定の種類の規制対象商品・サービスの販売、購入、または取引の促進が含まれます。

## 付録3:

# メディア情報リテラシーに関するUNESCOのリソース

### 有益なソース\* (デジタル版)



視聴する

MIL CLICK  
UNESCO  
フィルムアーカイブ



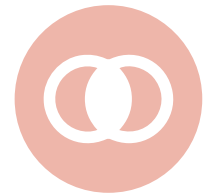
フォローする

MIL CLICKS  
Twitter



人の話を聞く

IPDCtalks 2017  
UNESCO  
ラジオアーカイブ



参加する

グローバルメディア情報  
リテラシーウィーク  
MILのパートナーシップの  
ための世界同盟

### 学ぶ

UNESCOとAUのメディア情報リテラシーコース、UNESCOのMIL Massive Open Online Course (MOOC)またはMILに関連するその他のトレーニング。

### 読む

- 教育者向けMILカリキュラム。
- MIL Policy and Strategy Guidelines.
- MIL: Reinforcing Human Rights, Countering Radicalization and Extremism.
- Opportunities for MIL in the Middle East and North Africa.
- 持続可能な開発目標に向けたMIL。
- Global Citizenship in a Digital World.
- MILと異文化間対話。
- Media education: a kit for teachers, students, parents and professionals.
- ユーザー作成コンテンツとメディア情報リテラシーの促進に関する放送者向けガイドライン。
- 「フェイクニュース」と偽情報: ジャーナリズム教育およびトレーニングのためのハンドブック。

## 有益なソース\* (印刷版)



### 視聴する

MIL CLICK動画  
(Twitterで入手可能)



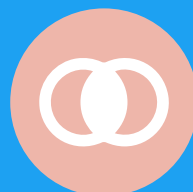
### 人の話を聞く

IPDCtalks 2017  
(Twitterで入手可能)



### フォローする

MIL CLICKS Facebook、  
MIL CLICKS Instagram、  
MIL CLICKS Twitter



### 参加する

グローバルメディア情報リ  
テラシーウィークとMILの  
パートナーシップのための  
世界同盟

## 読む

- Grizzle, A., Carme Torras Calvo, M. (2013). *Media and Information Literacy. Policy and Strategy Guidelines* (メディア情報リテラシー: ポリシーと戦略に関するガイドライン) パリ: UNESCO。
- Singh, J., Grizzle, A., Yee, S. J., Culver, S. H. (2015). *Media and Information Literacy for the Sustainable Development Goals* (継続的な発展を目指すメディア情報リテラシー) Göteborg: International Clearinghouse on Children, Youth and Media Nordicom, University of Gothenburg.
- Grizzle, A., Wilson, C. (2011). *Media and Information Literacy - Curriculum for Teachers* (メディア情報リテラシー: 教師向けカリキュラム) パリ: UNESCO。
- Culver, S. H., Kerr, P. A. (2014). *Global Citizenship in a Digital World* (デジタル世界におけるグローバルシチズンシップ) Göteborg: International Clearinghouse on Children, Youth and Media Nordicom, University of Gothenburg.
- Carlsson, U., Hope Culver, S. (2013). *Media and Information Literacy and Intercultural Dialogue*. (メディア情報リテラシーと異文化間対話) Göteborg: The International Clearinghouse on Children, Youth and Media, Nordicom, University of Gothenburg.
- Commonwealth Broadcasting Association (2009). *Guidelines for broadcasters on promoting user-generated content and media and information literacy* (ユーザー作成コンテンツとメディア情報リテラシーの促進に関する放送者向けガイドライン)
- Singh, J., Kerr, P., Hamburger, E. (2016). *Media and Information Literacy: Reinforcing Human Rights, Countering Radicalization and Extremism* (メディア情報リテラシー: 人権の強化、急進化および過激主義対策) パリ: UNESCO。
- Abu-Fadil, M., Torrent, J., Grizzle, A. (2016). *Opportunities for Media and Information Literacy in the Middle East and North Africa* (中東および北アフリカにおけるメディア情報リテラシーの機会) Göteborg: The International Clearinghouse on Children, Youth and Media Nordicom, University of Gothenburg.
- Frau-Meigs, D. (2006). *Media Education. A Kit for Teachers, Students, Parents and Professionals* (メディア教育、教師、生徒、親、専門家向けキット) パリ: UNESCO。

\*デジタル版ガイドラインですべてのソースを検索できます。

